

リボ払い

利用額と手数料把握を

(2015年3月24日掲載原稿)

クレジットカードが普及するにつれて、リボルビング払い（リボ払い）を利用する人も増えてきました。しかし、無計画な利用によって過大な借金を抱えたり、多重債務に陥ったりする危険性も指摘されています。

クレジットカードの支払い方法には「翌月一括払い」「ボーナス1回払い」「分割払い」などがあります。この中で手数料がかかるのは3回以上の「分割払い」と「リボ払い」です。

分割払いは利用金額を3回、6回などと指定した回数に分けて支払う方法。支払い回数が多いほど手数料の利率が高くなります。利用するたびに回数を指定できるため、支払いの終わる時期は把握しやすいですが、分割払いで複数の買い物をしていくと、支払いが重なって毎月の返済額が高額になることがあります。

一方、リボ払いは利用金額にかかわらず、毎月の支払額をあらかじめ指定した額にする定額方式が主流です。月々の支払額が決まっているため、分割払いに比べて家計の管理がしやすいといえます。ただし、残高に対して、常に年率15～18%程度の決して低くない手数料が発生することを忘れてはいけません。新たな買い物をすれば、支払総額と支払い回数が増えていくことになります。

ですから、無計画に利用していると「いつ払い終わるか」「どれくらい支払っているか」が分からないということになりかねません。

リボ払いの定額方式には毎月支払う元金の返済額を定額にして、それに利息を加えて支払う「元金定額」と、毎月支払う額を定額にしてそこに利息も含まれる「元利定額」の2種類があります。「元金定額」に比べて「元利定額」は元金が減りにくく、返済期間も長期化するため、いっそう注意が必要です。

リボ払いを利用する際には、常に利用額と手数料を把握し、計画性を持って利用しましょう。